

「勉強はつらいが研究は楽しい」



理工学部長

たぐち あずま
田口 東

大学生になると、講義の取り方だけをみても、自分で決めなければいけないことが沢山あるのに気がきまらず、学生生活の自由度が大きく、自分自身の責任で物事を決めるチャンスが多くなるのです。一生の間にこのような時期は滅多にありませんから、悔いを残すことのないよう是非有意義に過ごしてください。

私たちは、在学期間中に、皆さんが何らかの形で科学技術の第一線に参加できる力を身につけることを期待しています。それははるか彼方に輝いているように思うかもしれませんが、実はすぐ近くにあります。基礎から応用へと続く理工学部のカリキュラムを学ぶことによって、内容を理解できるようになり、私たち教員や大学院生の指導を受けながら、研究に取り組むこととなります。卒業研究

では、試行錯誤をしながらも、かなりの部分を自分の力で研究を進めるチャンスが得られるのです。単に学ぶだけでなく、研究を通じて「知」を創造する訓練を積み、成果を得る喜びを味わうことによって、将来未知の課題に出会ったとき、それを解決する能力を身につけることができます。

上の事に加えて、私が皆さんに望むのは、自然にしても社会にしても、その中の仕組みに対して、素直に興味を持てること、自分なりの答えを見出すまでの持続力を身につけること、そして答えに自信を持つことです。そのために、ゆつくり本を読む時間を作ること、良い友人を作ることの二つを勧めます。そのようにして成長しつつある先輩諸君の日々の活躍を理工学部のWebサイトで見てください。そして、皆さんも是非その仲間入りをしてください。